

事業番号	事務事業名	高齢者目配り気配り老人クラブ事業	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛	
01539	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	福祉係	担当者・シート作成者	片田 知宏
	施策名	14	高齢者福祉の推進	根拠法令等	鏡野町高齢者目配り気配り老人クラブ事業実施要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地域内のひとり暮らし高齢者をはじめ、援護を要する高齢者等の状況を把握し、5月1日と11月1日を基準日として名簿を作成し、日常的に「目配り気配り事業」を展開する。 提出された名簿を基に老人クラブに対して助成金を交付する。	平成22年度から、老人クラブが地域の状況を把握し、目配り気配りをする事により、共助のまちづくりを推進することを目的として実施された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込 実績	12,435 12,926	12,285 12,754	12,143 12,625	11,970	11,800
イ 65歳以上の高齢者	イ 65歳以上の高齢者数	人	見込 実績	4,750 4,740	4,750 4,747	4,694 4,757	4,788	4,720
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 地域での目配り・気配り	ア 参加した単位クラブ数	団体	目標 実績 達成率	70 69 98.6%	70 69 98.6%	70 69 98.6%	70	70
イ	イ 各簿記載者数	人	目標 実績 達成率	2,100 1,948 92.8%	2,100 2,015 96.0%	2,100 1,994 95.0%	2,000	2,000
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 提出された名簿の整理	ア 整理回数	回	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2
イ 補助金の支払い	イ 支払回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 03		項 01		目 04		大 事業 中 事業					事業番号	
	一般会計		民生費		社会福祉費		老人福祉費		06 20 高齢者目配り気配り老人クラブ事業						
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源	2,840	2,760	2,553	2,553	2,553	-207	一般財源	2,364	2,400	2,417	2,553	2,553	17		
合計	2,840	2,760	2,553	2,553	2,553	-207	合計(A)	2,364	2,400	2,417	2,553	2,553	17		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						40	40	40	40	40	40			
	人件費計(千円)(B)						135	140	134	134	134	134	-6		
最終予算額		2,553 千円		予算執行率		94.6%		トータルコスト(A+B)		2,499	2,540	2,551	2,687	2,687	11
主な支出事業内容(予算)	補助金						2,553 千円								
	主な支出事業内容(決算)						補助金						2,417 千円		

事業番号	01539	事務事業名	高齢者日配り気配り老人クラブ事業	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
最近では地域のつながりも薄れてきており、老人クラブも活動停止した地区がいくつかある。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
提出された名簿を避難行動要支援システムに反映することとした。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
老人クラブも活動費に苦慮しており、過去に増額要求も出ている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	既存の老人クラブの活動により、共助のまちづくりが推進される。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	共助のまちづくりが推進されると同時に、要援護者の把握ができるので、妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明		
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	名簿の作成に主眼を置くのではなく、もう一歩進んで共助のまちづくりを向上させる余地がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	要援護者の把握手段の一つが失われる。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	名簿の作成に主眼を置くのではなく、もう一歩進んで共助のまちづくりを向上させる余地がある。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	老人クラブも活動費に苦慮しており、過去に増額要求も出ている。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	必要最低限で取り組んでいるので、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	共助のまちづくりがどこまで浸透しているかが疑問である。まだまだ向上の余地があると思われる。 提出された名簿が避難行動要支援システムに反映でき、重要なものである。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
最近では地域のつながりも薄れてきており、老人クラブも活動停止した地区がいくつかある。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							